

第8回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 平成30年11月28日(水) 午後2時より午後3時55分まで

協議内容

1 平成30年度の提案について

- 10/25 東大阪市在宅高齢者介護者リフレッシュ事業について 参加者43名。アンケートの集計結果と話し合った内容を、資料を基に確認。介護者を対象者別で班分けするとより盛り上がるのではないかと、全員が話せるような場づくりが難しい、また参加したいという声が多くあった、対面の声が聞き取りづらく隣に座っている方との話が盛り上がりってしまった、地域での介護者家族の交流の場の定例化が課題、介護者が共感しあえる場の重要性が分かった、ケアマネジャーからの広報が効果的ではないか、開催時間が良くデイサービスに本人を預けて参加できたとの声があった、といった意見が出る。
- ロバで見守り隊ステッカーの配布状況について、SOS オレンジネットワーク協力事業所134事業所、事業所ふくしネットワーク協力事業所91事業所に配布済み。SOS オレンジネットワーク協力事業所の一つが73の拠点あり、枚数は298枚配布済み。引き続き協力事業所を増やしていく。
- 認知症高齢者等支援対象者情報提供制度について資料を基に説明がある。迷い人などで警察が保護した事案に関して、本人・家族の了承を受けて警察署から地域包括支援センターに情報提供を行う制度である。同制度をきっかけに介護保険など必要な制度の利用につながっている。前年度は333件受理、今年度も同程度の受理状況。地域包括支援センターからの連絡になかなか応じない家族や、度々迷い人として保護される本人の行動を分かっているながら疲弊し対応できない家族もいる。東大阪市政だより12月1日号の記事「おれんじ通信」で同制度の紹介を行った。
- 警察署から地域包括支援センターに対して、対象高齢者の関わりがあるか問い合わせが多くある。SOS オレンジネットワーク事業の登録者については、地域包括ケア推進課・社会福祉協議会の事務局・大阪府警本部・市内3警察署で情報を共有している。また、迷い人等で保護歴がある方は警察署に情報がある。
- おれんじ通信について、記事テーマ一覧の資料を基に今後の記事作成について話し合う。今後の記事テーマ候補として、せん妄、軽度認知障害、フレイル、認知症を予防する生活習慣、認知症あんしん声かけ訓練などがあがる。記憶障害があっても生活が出来たら大丈夫ということを伝えたい、認知症あんしん声かけ訓練では認知症の方に声をかけた後の対応方法を詳しく伝える必要があるのではないかと、といった意見が出る。
- ヘルパーの人員不足と訪問介護支援事業所の減少について話が出る。
- 次年度の全体研修会については、テーマを検討中。広報に協力願う。

その他

- 「東大阪市防災タウンページ」と、人と防災未来センターHPに掲載されている「減災グッズチェックリスト」の紹介と、HUG ゲーム(避難所運営ゲーム)の資料の紹介がある。HUG ゲームは児童生徒・教職員・自治体職員・自主防災組織など様々な対象者を想定して作られており、市内の地域包括支援センターが高齢者生活支援等会議で活用している事例もある。
- 災害時の医療の確保や薬剤の保管状況や避難行動要支援者名簿を活用した医療体制の整備はどうか質問が出る。災害時の医療体制整備は健康部保健所地域健康企画課が中心となって行っており、医師会・歯科医師会・薬剤師会との地震災害時の医療救護所の設置や薬剤の確保等について、連携協定を締結している。また、市と東大阪市自主防災組織連絡会が共催している防災訓練では、医師会・歯科医師会・薬剤師会に参加いただいております。平成28・29年度と医療救護所の訓練を共同で実施いただいております。災害時の医療機関の機能保持の状況把握については、EMIS(広域災害救急医療情報システム)を活用し把握に努める準備をしている。
- 「東大阪市防災タウンページ」は全戸配布済みとの報告があったが、手元に届いてないという声があるとの意見が出る。

各機関の報告

2 各選出機関の活動状況について

- 基幹型地域包括支援センター 11/13 地域包括支援センター担当職員研修 虐待事例の事例検討会

- 12/11 地域包括支援センター担当職員研修「悪質業者に強くなる講座」
- ・訪問介護事業所部会 東大阪市介護保険事業者連絡協議会フェスティバル2018でセミナー
11/6「作業療法士から学ぶ安全で負担の少ない介護技術」約60名の参加
 - ・通所介護・通所リハビリテーション事業者部会 同フェスティバルでセミナー開催
11/6「高齢者・障害者の防災について」
 - ・介護支援専門員連絡会 11/8 布施医師会で平成30年度在宅医療研修委員会に会長が参加。
11/12 河内医師会との交流会 医師4名・ケアマネジャー18名参加
12/12 第3回事例検討会
12/21 課題整理総括表を用いたスキルアップ研修
1/17 (H31) MSWとの交流会
1/22 (H31) 布施医師会との交流会
 - ・布施医師会 11/4 東大阪市健康フェスタ2ブースを出展
12/22 「僕がジョンと呼ばれるまで」市民向け映画上映会 定員300名 約220名申込
11/11 大阪府医師会医学会総会「東大阪市三医師会におけるおれんじナース養成講座」
ポスター発表
今年度もおれんじナース研修会の開催を予定 現在申込29名
1/26 (H31) 小阪中学校にて、地域包括支援センターヴェルディ八戸ノ里と共催で
多職種連携研修会の市民向け研修会を開催予定。
「みんなで考えよう地域の輪と和～医療と介護と地域の連携～」
認知症初期集中支援チーム 67件エントリー 終了25件 チーム員会議月2回
 - ・河内医師会 11/12 介護支援専門員連絡会との交流会 8回目の開催
11/29 第4回河内緩和ケアセミナー
「医療者・介護者も学ぼう！より良い関係性を築くための接遇マナー」
 - ・枚岡医師会 10/25 第2回枚岡在宅医療フォーラム「みんなでつくる地域包括ケア」
「地域の住民に寄り添う 地域包括ケアの構築に対する多職種の連携の課題と解決策」
11/10 Aリージョン 多職種連携研修会開催
11/24 Bリージョン4つの地域包括支援センター合同で多職種連携研修会を開催
11/22 枚岡在宅緩和ケア研究会 定期研修会を開催 事例検討会を行う
 - ・東大阪医療センター 11/16 医療安全研修
「患者家族とのコミュニケーション～基礎編・苦情対応編～」
11/26 玉串の老人クラブで栄養指導を実施
12/7 イコーラムホールで難病患者の在宅医療支援事業の研修会を開催
事業は今年度で終了 11/1から大阪府難病診療連携拠点病院の指定を受ける
 - ・社会福祉協議会 12/2 健康運動見本市 介護予防活動を推進するボランティアグループの周知が目的
講師による体操 活動体験スタンプラリーの実施
 - ・地域包括ケア推進課 在宅医療・介護連携相談窓口 10月相談件数総数12件
診療所や医師・訪問診療可能な医療機関等に関する相談が多い
具体的相談事例のHP掲載など、相談窓口のPRについて検討する。
1/17 在宅医療・介護連携コーディネーター主催でMSWとの交流会を開催予定
3/16 (H31) 多職種連携研修会全体会 テーマ連携のツール検証
SOSオレンジネットワーク事業 見守りトライくんシール「QRコード」名称使用の際
商法登録文の記載が必要 今後市としては「コード」に切り替える
12/26 自立支援型地域個別ケア会議 3事例の検証を予定 事例選定方法を変更
高齢者生活支援等会議 介護事業所の委員は今年度末で改選を行う
 - ・地域包括支援センター 11/23 地域包括支援センターアーバンケア稲田見守り・安心・声かけ訓練(認知症
あんしん声かけ訓練)を開催